

海外展開を加速 化学産業



三井化学は海外農業会社との資本・業務提携を通じた農業の海外展開を強化している。11年5月にはタイ2位の農業会社、ソータス（ソントラ）の株式10%を取得した。三井化学は成長が見込めるインドなどアジア市場での農業事業強化を重点施策に位置付け、アジアでの生産拠点を

提携・合併で拡販へ

三井化学、成長市場を開拓

確保を検討していた。三井化学の農業原産地をソータスで生産し、インドや東南アジアへ展開する。また、11年9月にはブラジルの農業会社、イハラ（サンパウロ）の株式11・89%を取

医薬・ヘルスケア共同開発

次期主力製品狙う

宇部興産は医薬品事業で、製薬会社との共同開発（自社創業）と、新薬を主体とした生産受託の拡大を進める。自社創業の主力製品で、抗アレルギー剤の「タリオン」は共同開発した田辺三三製薬が戦略製品に認定。アレルギー性結膜炎の点眼薬として米国でISTAより販売されており、日本・韓国で販売されている経口薬は中国やインドネシアでも発売された。

また、第一三共、イーエントは、いずれ特許切れを迎える。現在の主力製品が特許切れを起こしても成長を持続していくためには次期主力製品を生み出すしかない。そこで、宇部興産が主力とするのが、従来ないメカニズムを有するファーストインクラス（画期的新薬）の緑内障治療薬「D E117」だ。共同開発する参天製薬が8月に米国で治験を始め、グロバル展開を目指す。

三三製薬は、田辺三三製薬の相乗効果を生かしたヘルスケアソリューションの提供を進めている。その一つが人工炭酸泉。通常の温水と比べて血管が拡張して血流量が増加するため、リハビリや美容などヘルスケア分野への適用を見込む。人工炭酸泉の製造には三三製薬の技術を生かした中空糸膜法を用いることが可能。同法は、くはん法に必要な構造が不要で小型・軽量化が可能。そのため、介護、健康増進向けなど、さまざまな領域への展開を模索している。

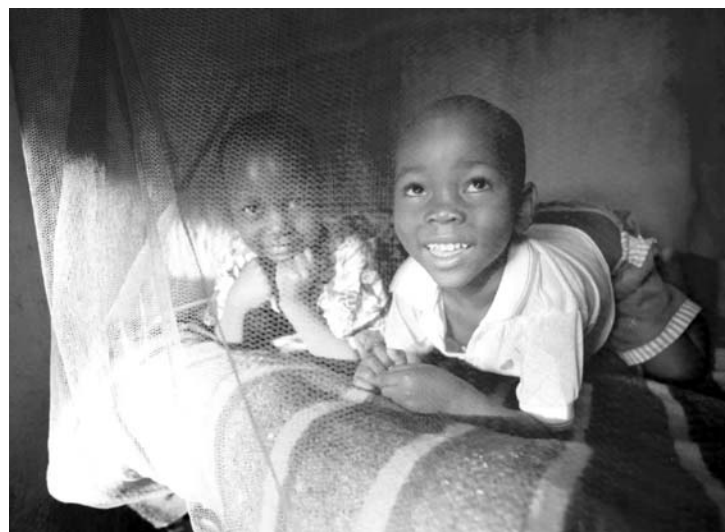


宇部興産は製薬企業との共同開発や医薬原体・中間体の製造供給を拡大する

旭化成、米ゾール買収

医療機器を事業の柱に

旭化成は4月、米国の救命救急医療機器大手、ゾール・メディカル（マサチューセッツ州）を22億1000万ドル（約1817億円）で買収した。旭化成の買収案件では過去最大で「これまでのM&A（企業の合併・買収）」とは覚悟が違う。世の中のニーズに合った旭化成のこれからのビジネスの柱にしたい」と、藤原健嗣社長は話す。



ゾールの2011年9月期の売上高は5億2370万ドル（約437億円）。生命蘇生技術を核とした救命救急領域に特化した医療機器メーカー

住友化学はアフリカでマラリア予防蚊帳「オリセツネット」の普及に力を入れている。タンザニアに年産2900万張の蚊帳工場があり、全世界では同6000万張の生産能力を持つ。従来の殺虫剤ピレスロイドが効きにくい蚊の発生がナイジェリアなど西アフリカで確認され始めているため、殺虫能力を高めたマラリア予防蚊帳「オリセツネット」を10月に発売。殺虫剤の性能を高め

る共力剤を蚊帳の樹脂に練り込み、従来品に比べアフリカの蚊の殺虫能力を高めた。オリセツネットは殺虫剤が少しづつ表面に染み出す構造で、繰り返し洗濯しても5年以上効果が持続する。従来品は洗濯して元の性能に戻るまで約5日かかったが、新製品は1・2日に改善したという。6月にはタンザニアの生産拠点にマラリア予防製品や農業資材の研究開発拠点「アフリカ・テクニカル・リサーチ・センター」を新設した。現地の蚊を使った実証実験や

で、01年から10年間の売上高の年平均成長率は16%に達する。ゾールの成長の原動力となったのは、心停止リスクのある患者に電気ショックを与えて心臓の動きを回復する着用法の除細動器「ライフ・ベスト」だ。通常の除細動器は体内植込み型が主流だが、ゾール製品は肩ベルトとボディーベルトで除細動器を固定し、着脱可能な着用法なのが特徴だ。同製品の11年の売上

高は1億1100万ドル（約93億円）。米国で5万人が使用し、ドイツなど欧州展開を進めている。ただ、日本で発売されておらず、ゾールの売り

上げの75%は北米、日本（約93億円）。米国で5万人が使用し、ドイツなど欧州展開を進めている。ただ、日本で発売されておらず、ゾールの売り

と共有。富裕層の拡大や高齢化の進展が進む中国を中心に、救命救急機器の需要増が見込めるアジアでの事業展開を加速させる。また、日本では約23%を出資する豪州の農業最大手「ニューファーム（メルボルン市）」を通じた農業の海外展開も強化している。ニューファームが19カ国に持つ現地法人との販売提携を済ませた。ニューファームの現地法人で販売する住友化学製品の拡充にも動いている。カナダでは11年3月からマメ畑向け除草剤「ハルテラ」を販売していたが、新たに園芸、芝向けの殺虫剤や除草剤など住友化学製品の取扱数を16種拡充した。ハンガリー、ルーマニア、ウクライナでは、住友化学の麦・果樹用殺虫剤「エスファレイト」、野菜用殺虫剤「ピロプロキンフェン」などの販売を強化。イタリアでは住友化学イタリアが扱ったニューファーム製品を従来比4倍の40製品に拡充した。

効果分析を行う施設を設け、マラリア予防蚊帳など効率的な開発を行う。オリセツネットの縫製技術などを応用した農業資材の開発も行い、14年までに製品化を目指す。住友化学は約23%を出資する豪州の農業最大手「ニューファーム（メルボルン市）」を通じた農業の海外展開も強化している。ニューファームが19カ国に持つ現地法人との販売提携を済ませた。ニューファームの現地法人で販売する住友化学製品の拡充にも動いている。カナダでは11年3月からマメ畑向け除草剤「ハルテラ」を販売していたが、新たに園芸、芝向けの殺虫剤や除草剤など住友化学製品の取扱数を16種拡充した。ハンガリー、ルーマニア、ウクライナでは、住友化学の麦・果樹用殺虫剤「エスファレイト」、野菜用殺虫剤「ピロプロキンフェン」などの販売を強化。イタリアでは住友化学イタリアが扱ったニューファーム製品を従来比4倍の40製品に拡充した。

化学のちからで
みんなの
笑顔を見たい。

くらしや社会のあらゆるところで、笑顔をつくるために
私たちの技術や素材は活躍しています。

未来を担う子どもたちのために。

住友化学は、未来を担う世界中の子どもたちが
笑顔で暮らせる社会や地球環境を実現するために、
化学の持つ無限の可能性にチャレンジしつづけます。

豊かな明日を支える創造的ハイブリッド・ケミストリー

住友化学



レスポンス・ケア



「地球の平和」アリス・スサント 8歳 インドネシア © 子供地球基金2011

環境にやさしくなること、社会の役に立つこと、明るい
未来を見据えた化学のちからでみんなを笑顔にしたい、
それが三井化学グループ。

自動車、電子・情報材料、生活・環境・エネルギー、
包装材料など世界中のあらゆるところで私たちの
革新的な技術や素材が生活を支えています。



「化学」「革新」「夢」の
三井化学

www.mitsui-chem.com